

(公民) 科 学習指導案

指導者 高山 望

- 1 実践(研究)テーマ 生徒の主体的学習を促す授業の工夫
- 2 日時 平成24年6月7日(木) 第4時限(12:45~13:35)
- 3 場所 高校1年1組教室
- 4 対象 (高等学校) 第1学年1組 40名
- 5 単元(教材)名 「2 情報化」
- 6 本時の展開

(1) 本時の目標

- 情報化が進む現代社会における人間としての在り方生き方を考察する。

(2) 展開

	学習活動	指導上の留意事項(◇) (◆「努力を要する」状況と判断した生徒への手立て)	評価規準〔観点〕 (評価方法)
(10分) 導入	本時の学習活動と目標 「情報化の現状と課題を考える」 <情報と生活> ◎ 生活のなかで、情報の働きが大きくなっていることを確認する。	◇ 地上デジタル放送、カーナビなど、身の回りの情報化について挙げさせる。 ◆ 普及以前の状況を想像しがたいようであれば、情報機器を数種類提示して、それらが普及した時期や当時の生活を説明する。 ◇ マルチメディア、情報ネットワーク、ユビキタス等の語句の意味を確認させる。	情報化の現状について積極的に考えようとしている〔関心・意欲・態度〕(観察)
(15分) 展開Ⅰ	<メディアの中の生活> ◎ 前回指示してある「新聞記事の比較」について発表する。 ◎ メディアによって影響を受ける例を考える。	◇ 新聞の記事の配信者(ライター等)に注目させる。 ◇ 当日の新聞の1面を並べて掲示する。 ◆ 「コミュニケーション」の発音に注意する。 ◆ テレビでのみプロ野球を見て育った子どもは、どのチームのファンになるか。 ◇ 憲法や国防に関する内容は特に新聞社ごとの主張の違いが大きいことに触れる。	複数の新聞記事を収集し比較している〔技能〕(ノートの観察) メディアから影響を受ける具体例を考察している〔関心・意欲・態度〕(発問への答え)
(20分) 展開Ⅱ	<情報化社会の課題> ◎ グループごとに、選んだことがらについて話し合う。 ◎ 話し合った内容を代表が黒板に記入し発表する。	◇ 記録用ワークシートを配付する。 ◇ 司会・発表は多くの生徒に経験させる。 ◇ 情報化に光と影の両面があることを意識させる。 ◆ 話し合いの様子を観察し、全員が参加するよう促す。	話し合いに参加している〔関心・意欲・態度〕(観察) 話し合った結果をまとめ発表している〔表現〕(発表)
(5分) まとめ	学習のまとめ 「情報化社会の課題についてまとめる」	◇ ワークシートをノートに貼るよう指示する。 ◇ 知的財産権、メディアリテラシー、ネチケツト、デジタルデバイド等について、発表内容と資料集を参考にまとめておくことを指示する。	

7 思考力・判断力・表現力等の育成ポイント(言語活動の充実の工夫)

テーマに沿って小グループで話し合い、発表する。

8 見通しを立てたり、振り返ったりする学習活動の重視

前時に指示した課題を活用する。発展的な学習の方法を紹介する。

9 授業参観者に見てもらいたいポイント

生活の中での情報化について、生徒が主体的に考察する授業となっているか。